

市の借金・貯蓄額は？ 介護や水道にかかる費用は？

特別会計 国民健康保険や介護保険、下水道など、特定の人や限られた人が利益を受けるような事業について、一般会計と区別して経理を行っています。

企業会計 企業経営という観点から、水道事業は独立して経理を行っています。



市債現在高の状況 市の借金

会計	現在高
一般	232億 703万円
公共下水道事業	82億 2944万円
農業集落排水事業	30億 3940万円
合計	344億 7587万円

基金現在高の状況 市の貯金

区分	現在高
財政調整基金	69億 3333万円
特定目的基金（災害対策など）	62億 2653万円
定額運用基金（土地開発基金など）	29億 722万円

文・表中の額は1万円未満を四捨五入しているため、合計とは一致しない場合があります。

特別会計

会計	歳入	歳出
国民健康保険	79億 632万円	76億 3745万円
公共下水道事業	15億 9443万円	15億 5511万円
農業集落排水事業	11億 1581万円	10億 5790万円
田原福祉専門学校	1億 673万円	1億 673万円
介護保険	43億 5180万円	40億 8156万円
後期高齢者医療	6億 6119万円	6億 5556万円
合計	157億 3628万円	150億 9431万円

企業会計

水道事業会計	収入	支出
収益的収支	14億 5546万円	13億 8614万円
資本的収支※	3606万円	4億 8117万円

※資本的収入額が資本的支出額に不足する4億4510万円は、過年度分損益勘定留保資金4億1066万円、および当年度分消費税、地方消費税資本的収支調整額3444万円で補てんしました。

市のお財布の中身は大丈夫？

健全化判断比率の4つの指標のうち、1つでも早期健全化基準を超えると財政健全化計画を、財政再生基準を超えると財政再生計画を策定しなければなりません。また、資金不足比率が経営健全化基準を超えると、経営健全化計画を策定しなければなりません。いずれの場合も各計画に基づいて財政再建に取り組むことになりますが、田原市においては、引き続き**財政の健全性が確認**されました。



健全化判断比率

市の財政状況が健全かどうかを表す指標

区分	平成26年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	黒字	12.59%	20.00%
連結実質赤字比率	黒字	17.59%	30.00%
実質公債費比率(3カ年平均)	7.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	健全	350.0%	

※実質赤字比率および連結実質赤字比率については、実質収支、連結実質収支がそれぞれ黒字であるため「-」で表示しています。

※将来負担比率については、充当可能財源が将来負担額を上回っているため「-」で表示しています。

資金不足比率

お財布の中身が赤字になっていないかを表す指標

特別会計の名称	平成26年度	経営健全化基準
公共下水道事業特別会計	-	20.0%
農業集落排水事業特別会計	黒字	20.0%
水道事業会計	-	20.0%

※資金不足比率については、各会計とも資金不足額が生じていないため「-」で表示しています。

用語解説

【実質赤字比率】一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率

【連結実質赤字比率】全会計を対象とした実質赤字(または資金不足額)の標準財政規模に対する比率

【実質公債費比率】一般会計等が負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模に対する比率

【将来負担比率】一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

【一般会計等】一般会計、田原福祉専門学校特別会計



防犯カメラ